

【3】地上の総てを浄める為に、苦しんでいる人霊・御神霊を救うこと

【本当の世救い人救いとは】

- 5
- 不幸現象^{こんぼん}を根本^{こんぽん}から救うには、不運・不幸の人間ではなく、人間の背後^{さわ}で障りをもたらししている、邪霊・邪神と呼ばれている方々を救わなければなりません。
 - 人間の身体^{からだ}に憑いて直接^つ病気を作っているのは、低層^{ていそう}の邪な思い^{よこしま}を持つ霊団^{れいだん}なので、苦しめている人間に対して、直接^{うち}の恨みはありません。
- 10
- 低層^{ていそう}の霊団^{れいだん}は、面白半分^{面白半分}に障っているだけなので、比較的簡単^{さど}に諭す事が出来ますが、力のない者が迂闊^{うかつ}に他人^{他人}に障っている低層^{ていそう}の霊団^{れいだん}を救ってしまうと、自分自身が、助けた相手を強く恨んでいる上層^{じょうそう}の・邪神^{じゃしん}と呼ばれている方々の攻撃対象になってしまいますので、『神』に祈り、ご守護をお願いしてから行いましょう。
- 15
- 救霊^{きゅうれい}するからには「神界^{しんかい}の地獄^{じごく}にいる御神霊^{ごしんれい}」を諭せなければなりません。学びを深めて、「神界^{しんかい}の地獄^{じごく}にいる御神霊^{ごしんれい}」を諭して救う事が出来るようになりましょう。
- 20
- 自分の言葉で地獄^{じごく}にいる霊や、神界^{しんかい}の地獄^{じごく}にいる御神霊^{ごしんれい}を諭して救うことが出来ると、とても大きな徳になりますから、積極的にい行いましょう。

25 御神霊^{ごしんれい}を諭すには、自分自身が「諭す内容の事」を“実行”出来るようになりましょう。自分の霊格^{れいかく}を本来^{ほんらい}の神格^{しんかく}まで高めて戴^{いた}けるように励みましょう。

★ 救いとは、徹底的に実行しなければ意味が無く、中途半端に助けてしまうと自分が苦しくなり、相手も完全に救えません。

30 地獄^{じごく}にいる御神霊^{ごしんれい}を諭して救えるようになると、その功績^{こうせき}で自分の霊格^{れいかく}を急速に高めて戴^{いた}けます。自分の霊格^{れいかく}が御神霊^{ごしんれい}より少し低くても、「僭越^{せんえつ}ですが…」と遜^{へりくだ}って行くと諭すことが出来ます。

35 神界^{しんかい}の地獄^{じごく}にいる御神霊^{ごしんれい}を救うことで、この世界は平和になります。

40 今までに守護神様^{しゅごしんさま}を通して人類界^{じんるいかい}に許されていた技は、障っている邪霊^{じゃれい}をその場所から“引き離す事”だけで、“天国に導く事”は出来ませんでした。更に、その邪霊^{じゃれい}を後ろで操っている御神霊^{ごしんれい}を救う事などは、絶対に出来ませんでした。

45 『真理＝神理』の研究会は、『宇宙創造神』に直結の会ですから、神霊界^{しんれいかい}の地獄^{じごく}に押し込められている御神霊達^{ごしんれいたち}を諭して、本来^{ほんらい}の高い神界^{しんかい}に救い出す事が出来るのです。当然^{当然}の事として、邪霊^{じゃれい}も諭して、天国に導く事が出来るのです。